

空高く舞う「鳥凧」、草月流作品「かをるはる」を活ける、無形文化財「戸塚囃子」

新宿パークタワー「お正月イベント」 開催のご案内

会 期：2002年12月29日(日)～2003年1月26日(日)
会 場：新宿パークタワー

新宿パークタワーでは(新宿区西新宿3-7-1)では、来る2002年12月29日(日)～2003年1月26日(日)まで、「お正月イベント」を開催します。

新宿パークタワーの2003年「お正月イベント」では、日本の伝統文化にスポットをあてます。

会期中、1Fアトリウムの吹き抜けスペースでは、「新潟鳥凧の会」による丹頂鶴の鳥凧45羽が空を舞います。翼長およそ3mにもなる鳥凧の姿は、新年の夢を乗せて羽ばたいているかのようです。

新年1月4日(土)～13日(月・祝)には、地下1Fパークタワーアベニュー(ショップ&レストラン街)にて、能舞台などで作品を制作され、その大胆かつ繊細な作風が魅力の草月流空間造形作家横井紅炎(よこい こうえん)氏の大作“「かをるはる」を活ける”を展示します。お正月にふさわしく「松竹梅」を使用し、植物・花の「かをり」を感じていただける作品となります。

また、1月7日(火)12:00～13:00には、新宿・戸塚の伝統芸能であり無形文化財の「戸塚囃子」と「獅子舞」が新年の幕開けを祝います。

本資料をご参照の上、「イベント情報」としてご紹介いただければ幸いです。
また、ご取材を賜ります様、ご検討の程よろしく願いいたします。

< この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。 >

新宿パークタワー

担当：増田・中山・佐藤

〒163-1053 新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー13F
東京ガス都市開発株式会社

TEL：03-5322-6647 FAX：03-5322-6642

Email：parktower@tgud.co.jp

URL：<http://www.shinjukuparktower.com/>

[開催概要]

- 名称：新宿パークタワー「お正月イベント」
会期：2002年12月29日(日)～2003年1月26日(日)
全館休館日：2002年12月31日(火)～2003年1月3日(金)
- 会場：新宿パークタワー 1F アトリウム、B1F パークタワーアベニュー
電車：JR 新宿駅南口から初台方面に徒歩約12分
京王新線初台駅から徒歩約8分
地下鉄：大江戸線都庁前駅から徒歩約8分
バス：新宿駅西口京王百貨店前から都営バス「新宿車庫」行にて
「西参道下車」
シャトルバス(無料)10:10～19:20の間、新宿駅西口の新宿エルタワー前から
10～15分間隔で運行
但し、曜日により運行時間が異なる場合もあります。
- 主催：新宿パークタワー
入場：無料
一般お問い合わせ先：TEL 03-5322-6640
- 内容：「鳥凧展」
会期：2002年12月29日(日)～2003年1月26日(日)
会場：1Fアトリウム
内容：「新潟鳥凧の会」による丹頂鶴の鳥凧45羽を展示
- “「かをるはる」を活ける”
会期：2003年1月4日(土)～1月13日(月・祝)
会場：地下1Fパークタワーアベニュー
内容：草月流空間造形作家、横井紅炎(よこい こうえん)氏による
“「かをるはる」を活ける”を展示(参考写真あり)
- 「戸塚囃子」
日時：2003年1月7日(火)12:00～13:00
会場：1Fアトリウム
内容：新宿・戸塚の伝統芸能「戸塚囃子」と「獅子舞」

「新潟鳥風の会」とは

1988年結成。現在29名の会員があり、千葉・埼玉を中心に関東支部もある。鳥風の美しさと制作に魅せられた風友である。

横井紅炎氏プロフィール

横井紅炎（よこい こうえん）・「紅会」主宰

1961年 第19代宝生流久郎（家元）を祖父、舞台演出家横井茂を父として東京に生まれる。祖母長谷川紅蓉、母横井紅花とも草月流作家。

1979年 武蔵野美術大学造型学部空間デザイン科入学。

1985年 広告代理店（株）TCJ空間デザイン部入社。主に植物を用いた作品を制作する。

1989年 （株）東京アドクリエイティブ入社。主に空間に植物を用いた作品を制作する。

1989年 草月流二級師範。

2000年 母紅花の帰天によりフラワー教室を受け継ぐ。

それに伴い、草月流教室に参加していく。

2001年 横浜飛天双輪能舞台デザイン総合ディレクターとなる。

<主な能舞台・デザイン・作品制作>

2001年 第5回横浜飛天双輪能（横浜能楽堂）

2002年 第1回ジャパンフラワーフェスティバル 入選

第2回ジャパンフラワーコンテスト ベストフォト受賞

ガウディー生誕150年記念能（スペイン・バルセロナ）

「戸塚囃子」について

江戸後期 阿佐ヶ谷村の横川初五郎によって編み出され、各村を経て下戸塚村（現 西早稲田）に江戸末期に伝わったとされています。

形式は、田淵流 中間囃子で山の手を代表する祭り囃子の一つです。

新宿区の数ある中、最も秀れていることから平成二年八月、無形文化財の指定を受けました。